

兵高教組

2024年6月14日

兵庫県高等学校教職員組合調査部  
TEL : 078-341-6745 FAX : 078-351-3185  
URL : <http://www.hyogo-kokyoso.com>  
mail : [honbu@hyogo-kokyoso.com](mailto:honbu@hyogo-kokyoso.com)

# 調査情報 6号

教職調整額を 4 → 10 % でごまかされません！  
**このままでは学校・教員がもたない！**  
**多忙化解消への定員増すらない「審議のまとめ」**  
～学校現場の声を文科省（パブリックコメント）へ届けよう～

5月13日、文科省中央教育審議会（中教審）は、「令和の日本型学校教育」を担う質の高い教師の確保のための環境整備に関する総合的な方策について（審議まとめ）を発表しました。マスコミの中には、「残業代2.5倍に！」「調整額が10%になる」「50年ぶりの待遇改善」などの報道もあり、歓迎する声もありましたが、本当に働きやすくなるのでしょうか。

### ◎ 高教組が考える2つの問題点 ◎

- ① 教員の数を増やさずに、働き方を変えさせないこと。
- ② 勤務実態把握をせず時間外勤務を黙殺する方向にあること。

#### 問題点①

教員の負担を減らすために「教員を増やす」「持ち授業時数の上限設定」「30人以下学級」などが、取り入れられず、現状の働き方への変更はありません。

部活動に関する記載は「指導員の配置充実も必要」とあるだけです。



#### 問題点②

教員の特殊性から残業代不支給とする一方「時間外在校等時間(持ち帰り残業は除く)が月80時間超の教師をゼロに」と「持ち帰り仕事」を黙認し、サービス残業を強い、長時間勤務の実態は黙殺されそうです。

**「10%にUPした分、文句言わんと働け！」**



教職員定数の抜本的改善を勤務時間内で授業準備や業務が完了できる教職員配置に。

高校でも35人以下学級を「少人数学級」の実現。高校でも当面、35人。段階的に20人に。



◎ 高教組が考える4つの提言 ◎



教職員の「持ち時間数」減を兵庫県教委が高校で標準としている16時間から10時間程度に。

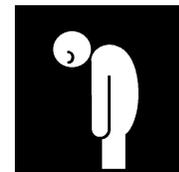
部活動の見直しには議論を文言だけの「指導員の配置充実」でなく教員との議論をへて予算化を。

文部科学省は「審議のまとめ」について、パブリックコメントの募集をしています。  
(6月14日～6月28日まで)

現場のリアル、教職員の声、教育への希望等、たくさんの声を文部科学省に届けましょう！  
声は束ねると大きなうねりに変わります！



そうだったのか。もう決まったんでしょ。困ったねえ。



教職調整額が上がるんだって！お給料増える！

このQRコードから文部科学省「審議のまとめ」へのパブリックコメントができます。

まだ大丈夫！パブリックコメントであなたの声を届けよう！未来は変わるよ！



結局、ほとんど変わらないし、むしろ先生方には悪影響が生まれるよ。

